
ファナティック・ヒューマニティー

コメジルシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ファンタティック・ヒューマニティー

【Nコード】

N2780BA

【作者名】

コメジルシ

【あらすじ】

少年、孤愁こしゆう 哀あいがある出来事を機に進化した人間であるデザイナーに巻き込まれて非日常にのまれてしまうお話です。
デザイナー達の学校での学園ファンタジーです。

序、少年の運命は大きく捻じ曲がり狂い出す

ただ暗かった。暗い、闇。

そこにあるのは闇だけだった。

そして、そんな暗い闇は本能に強く訴える。

危険だ、と。

「落ち着け．．．」

とりあえず不安を拭い去る為に少年は呟く。

「大丈夫。ここは学校。僕が毎日通っている 学校だ。そして、こ

こはただの廊下。何も怖がる事なんてないじゃないか。」

そう言つてやっと少年は目的地である教室に辿り着く。

「えーと。僕の席は．．．？」

前から6番目、一番窓際の席が少年の席であった。

少年はゆっくりとそこに歩いて行き、そしてその机の中を手で探り始める。

「．．．確かここに．．．あつた！」

少年が机から出した手に握っているのは白くて丸い石だった。まるで真珠のように綺麗な石。

それは少年の大切なお守りであった。

「まったく、忘れ物はするもんじゃないな．．．さてと、怖いから早く帰る。」

そして少年は教室を去っていった。

そしてそれから20分後。

少年が化物に襲われてひどい傷を負って倒れているのが発見されることになる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2780ba/>

ファナティック・ヒューマニティー

2012年1月7日01時50分発行